

シロアリは木が大好き！

シロアリ類は栄養として木材の成分であるセルロース、ヘミセルロースを利用しています。特に湿材を好み、ほとんどの場合、家屋へは床下から侵入します。

ヤマトシロアリ

日本においては北海道の名寄市を北限に広く分布。特に乾燥に弱く、常に湿った木材中に生息し、蟻道を作って移動します。家屋内では、常時多湿の台所や風呂場、トイレなどが被害を受けやすく、加害箇所が巣となります。



イエシロアリ

千葉県房総半島南部から西の暖かい海岸に沿った地域および南西諸島、小笠原諸島に分布。木材を湿しながら加害するので被害は建物全体におよびます。また木質だけでなく、消化できない発砲スチロール、ゴム、コンクリートまで加害します。



アメリカカンザイシロアリ

東京や横浜、神戸などの港湾都市部を中心に被害が報告されています。水分の供給なく天井や梁などを加害。天井付近の梁や柱材などにあけられた直径5mm程度の穴から排出される顆粒状の糞が被害発見の目安となります。

ダイコクシロアリ

奄美大島以南と小笠原諸島に分布。乾燥にきわめて強く、家具類やピアノなどの木製品から建物や屋外の枯枝まで被害は広くおよびます。アメリカカンザイシロアリ同様に、顆粒状の糞を外部に排出します。



日本全国に幅広く分布

日本全体を見るとヤマトシロアリが南西諸島から北海道にかけて最も広く分布。移入種と考えられるアメリカカンザイシロアリは、外材輸入の際に製材品に付着して侵入することが考えられ、分布拡大が懸念されています。



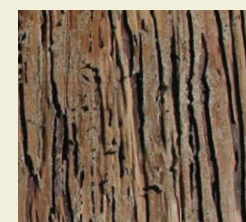
こんな部分が狙われています！

シロアリは雑食性で、加害力の強い昆虫。その被害はきわめて広範囲におよび、気づいたときは、被害がかなり進行している場合が多々あります。比較的暖かく湿った場所を好むので、風呂場やキッチン、トイレなど水をよく使うところに多く発生します。



① 湿気の多い土台

シロアリは床下から侵入することが多く、湿気の多い土台や柱の下部がまず加害されていきます。集成材でも乾燥に伴って亀裂が入り、亀裂部分から中に侵入するので、気がついた時には相当被害が広がっている場合があります。



② 管柱

無垢材は言うまでもなく集成材でも、乾燥に伴う亀裂があると、シロアリはその亀裂部から侵入。まず中芯部から食べていくので、柱はスカスカの空洞状態になります。



③ 壁内・小屋裏

雨漏りや給排水管の漏水・結露など、シロアリにとっての給水源があると、軸組材から小屋組材まで加害される場合があります。



④ 床版

床下から侵入してきたシロアリは、床版を食い荒らし、さらにその上にある畳や家具類まで食害します。床がくぼむ感じをうけたり、ドアや雨戸の立てつけが悪くなったりします。

シロアリ対策には防腐防蟻処理！！

防腐防蟻処理が施された木材を使うかどうかで、また、その木材も薬剤が中芯まで注入されているかによって、住宅の耐用年数は変わってきます。さらにシロアリ被害が発見された後に処理を施すことになると、費用も随分とかがかります。

シロアリは木材の中芯部から食べていく！

薬剤が表面から10ミリ程度しか注入されていない商品では、不十分！注入されていない中芯部が食べられ、スカスカの空洞化状態(骨そしょう状態)になります。

シロアリ防蟻処理は5年程度しかもたない！

AQ認証の加圧注入処理製品は20~30年もちますが、現場での処理では5年程度しかもちません。6年目以降の処理費用は、1棟30万円以上かかるといわれます。

シロアリが3~4年住み着くと修復費用は400~500万円!?

シロアリの巣は大きいものでは2メートルぐらい。その巣を取り除き、防腐防蟻処理を施し、食害にあった場所を修復する必要があります。

5~6年だと修復不可能!! 立て替えが必要!

被害の度合いによっては、住宅ごと1棟囲んで焼く処理をするしか方法がない場合があります。その場合、数百万もの費用がかかります。

だから JWOODEX